

VIII. 安全性（使用上の注意等）に関する項目

6. 重要な基本的注意とその理由及び処置方法

- (1) 歯科医師の指導により使用すること。
- (2) 誤って飲用し、嘔吐、腹痛、下痢などの急性中毒症状を起こした場合には、牛乳、グルコン酸カルシウムなどのカルシウム剤を応急的に服用させ、**医師の診療を受けさせること。**

<参考>

歯科医師の診療では有りません。

フッ化物摂取量（過量）と処置

フッ化物摂取量	処置
5mgF/kg以下	<ol style="list-style-type: none">1. カルシウムを与える。ミルクやアイスクリームを与え2～3時間様子を見る。2. 嘔吐を誘導する必要はない。
5mgF/kg以上	<ol style="list-style-type: none">1. 催吐剤（emetic）で嘔吐を誘導し、異を空にする（胃洗浄）。ただしダウン症、知能発育の遅れの高い者には禁忌（チューブを用いる）。2. 経口的に可溶性カルシウムの投与：ミルク、5%グルクロン酸カルシウム（Calcium gluconate）や乳酸カルシウム（Calcium lactate）など、硫酸マグネシウムや水酸化アルミニウムなどでもよい。3. 病院に連れていき、2～3時間観察する。
15mgF/kg以上	<ol style="list-style-type: none">1. ただちに病院に連れていく。2. 嘔吐を促進する（胃洗浄）。3. 心臓モニターを取付け、心不整脈（cardiac arrhythmia）のチェック、心電図でT波のピークとQ-T間隔の遅延を観察。4. 10%のグルクロン酸カルシウム溶液10mLをゆっくりと静注、痙攣が引き続いた時はさらに量を増やしてみる。電解質、特にカルシウムとカリウム量をモニター、必要なら補給に努める。5. 尿排泄促進をするため利尿剤の利用も考える。6. ショックに対する一般的な対処療法を取る。



誰が判断するのでしょうか？